

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-3		事業名	合流式下水道の改善事業			
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 福田 818-3441						
全 体 計 画							
事業内容	大雨の時などに、汚水の混じった雨水が流れ出て川を汚してしまう問題を解決するため、吐口(はきぐち)対策や、雨の降り始めの特に汚れた下水を一時的に貯める下水道管(貯留管)の整備などを実施する。		<年度別の事業内容>				
			19年度	豊平川雨水貯留管の基本設計 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置 雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法)に関する調査			
			20年度	豊平川雨水貯留管の実施設設計 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置 雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法など)に関する調査			
			21年度	豊平川雨水貯留管新設工事 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置			
			22年度	豊平川雨水貯留管新設工事 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)				
	・豊平川雨水貯留管の基本設計 ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 7カ所 ・雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法)に関する調査 雨天時活性汚泥法 水再生プラザにおいて、処理の工程を工夫することにより、雨天時に通常の2～3倍の下水を処理する方法。		・豊平川雨水貯留管の実施設設計 ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所 ・雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法など)に関する調査				
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
吐口対策実施済数(累計)		6カ所	13カ所	17カ所	21カ所	24カ所	22カ所
豊平川貯留管の整備進捗率		-	-	1%	10%	35%	35%
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
■市民との連携、市民参加 下水道事業パンフレットの配布、インターネットホームページや下水道科学館の活用などにより、下水道事業のPR及び市民の理解の促進を図る中で、合流式下水道の改善事業についても公表している。また、下水道モニター制度、市営企業調査審議会などにより市民意見の収集、情報の共有化を図っている。							
■企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]							
■市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年3月に合流式下水道における改善対策の早期推進のため、「札幌市合流式下水道緊急改善計画」を変更し、合流式雨水吐口のスクリーン施設の設置(全体計画 58カ所)については、当初計画より前倒しすることとした。